

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

注意

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

○記号は、してはいけない
「禁止」内容を示しています。

●記号は、必ず実行していただく
「強制」内容を示しています。

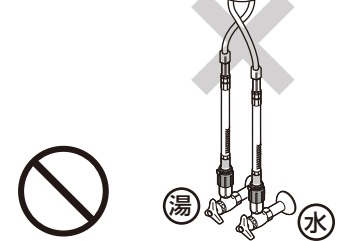
⊘記号は、触れてはいけない
「接触禁止」を示しています。

警告

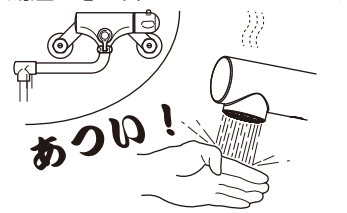
- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- ・修理技術者以外の人、水栓内部を分解しないでください。
- ・この説明書に記載された項目以外には分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

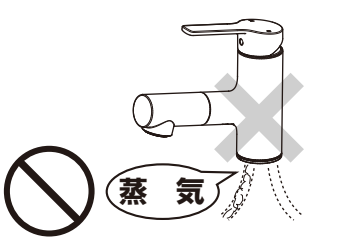
湯水を逆に配管しないでください。



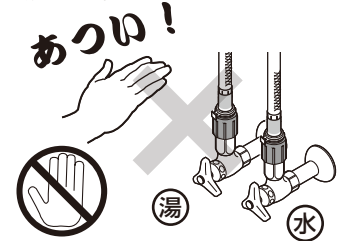
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。



給湯に蒸気を使用しないでください。

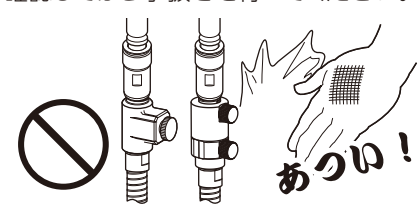


湯側の配管には手を触れないでください。



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水抜き継手（または逆止弁付き水抜き継手）は水抜き以外の目的で開けないでください（寒冷地仕様のみ）。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。



注意

故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温でご使用になると製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。



水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

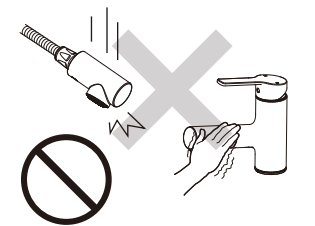
新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。



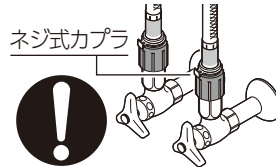
注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

製品を落としたり、強い力や衝撃を与えないでください。



止水栓にネジ式カブラを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。



高水圧地区では減圧弁を設置してください。



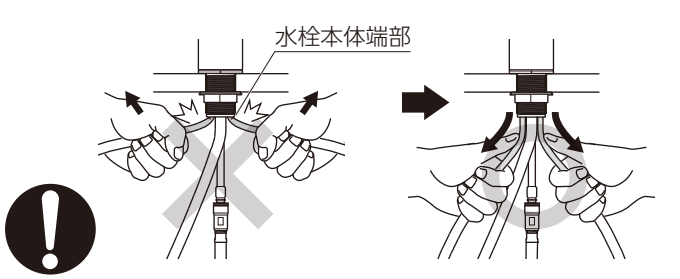
水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓が傾いたり、水漏れが発生するおそれがあります。



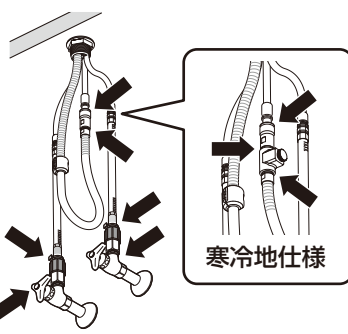
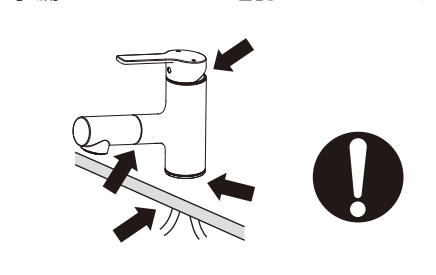
定期的な止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。



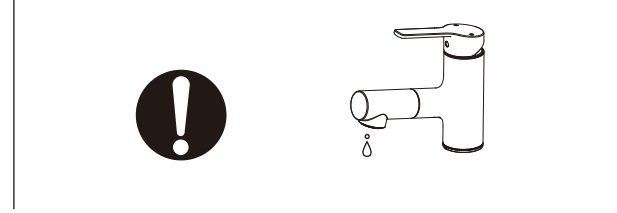
銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆやかに曲げてください。



施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

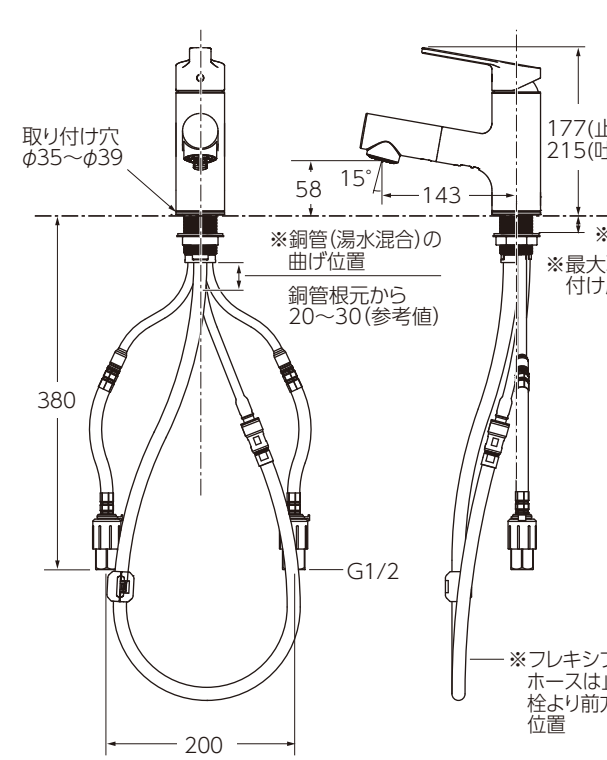


冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください（水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください）。



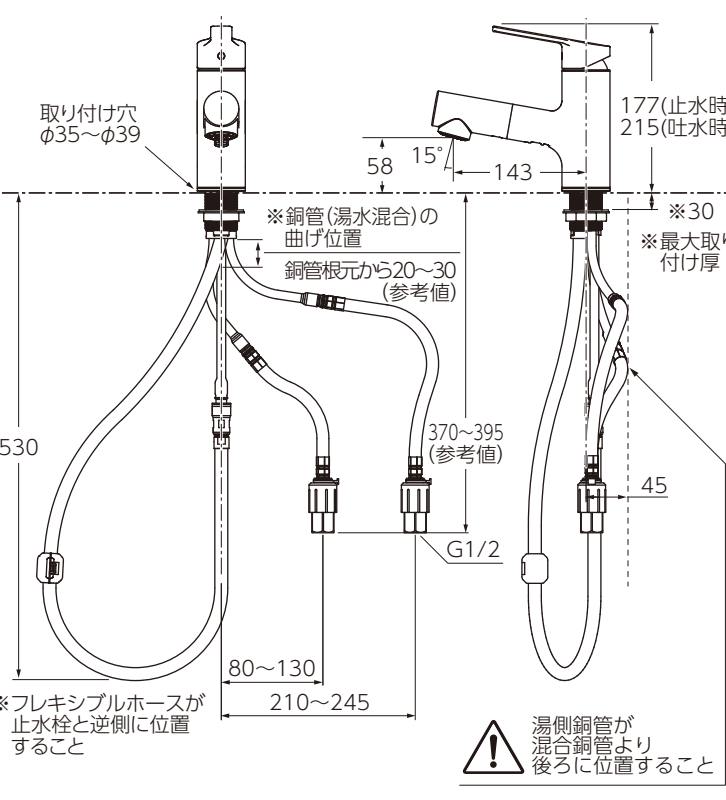
外観寸法図

【標準配管例】

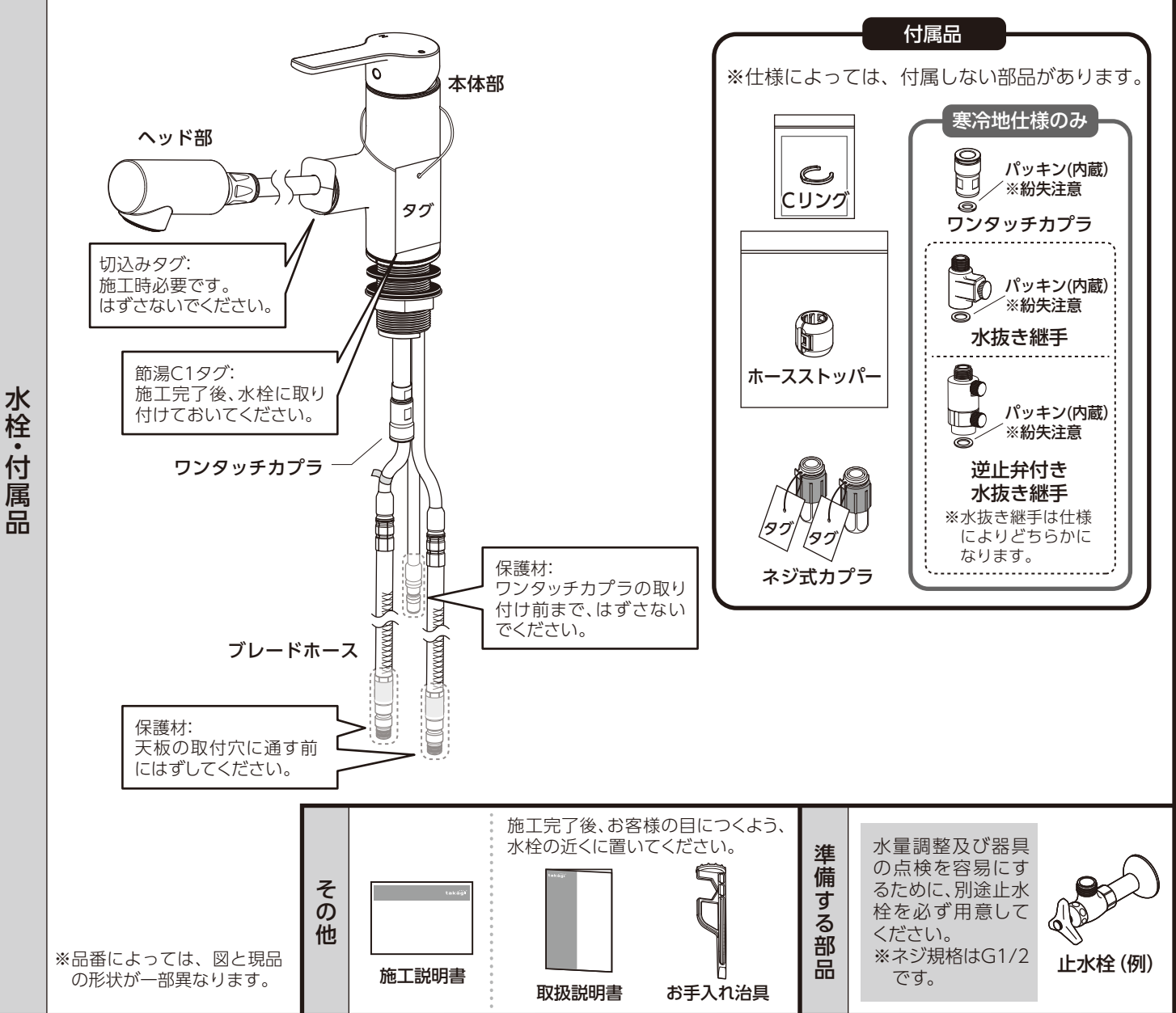


【オフセット配管例】

※ブレードホース長さ違いの場合



部品の確認



1-②水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンを取りはずす

ワンタッチカブラを右図の位置（固定ネジの下）にして、水栓固定ナット、ワッシャー、パッキン1枚を固定ネジからはずしてください（もう1枚のパッキンは残しておきます）。ブレードホース先端の保護材も取りはずします（その他の保護材は、はずさないでください）。

※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取りはずせません。

※切込みタグはフレキシブルホースからははずさないでください（締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります）。

※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカブラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカブラの位置となります。

1-③本体部の取り付け

本体部の下面にパッキン1枚（※1）が付いていることを確認し、ワンタッチカブラを右図の位置（固定ネジの下）にした状態で、天板の取付穴に本体部を差し込みます。

パッキン、ワッシャー、水栓固定ナットの順に本体部に通し、水栓固定ナットを矢印の方向に締め込み、固定ネジに仮止めします。

本体下部の凹部が正面を向くように合わせたあと、水栓固定ナットを十分に締め込み、スパウトホルダーおよびレバーハンドルが左右に動くことを確認してください（微調整の際は、水栓固定ナットを少し緩め調整してください。調整後は混合栓用締付工具で増し締めしてください）。

※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取り付けられません。

※切込みタグは、図の位置に付け替えると施工しやすくなります。また、切込みタグはフレキシブルホースからははずさないでください（締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります）。

※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカブラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカブラの位置となります。

注意

破損の原因となります
水栓固定ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。

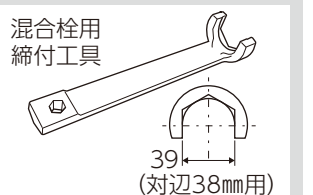
注意

天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

注意

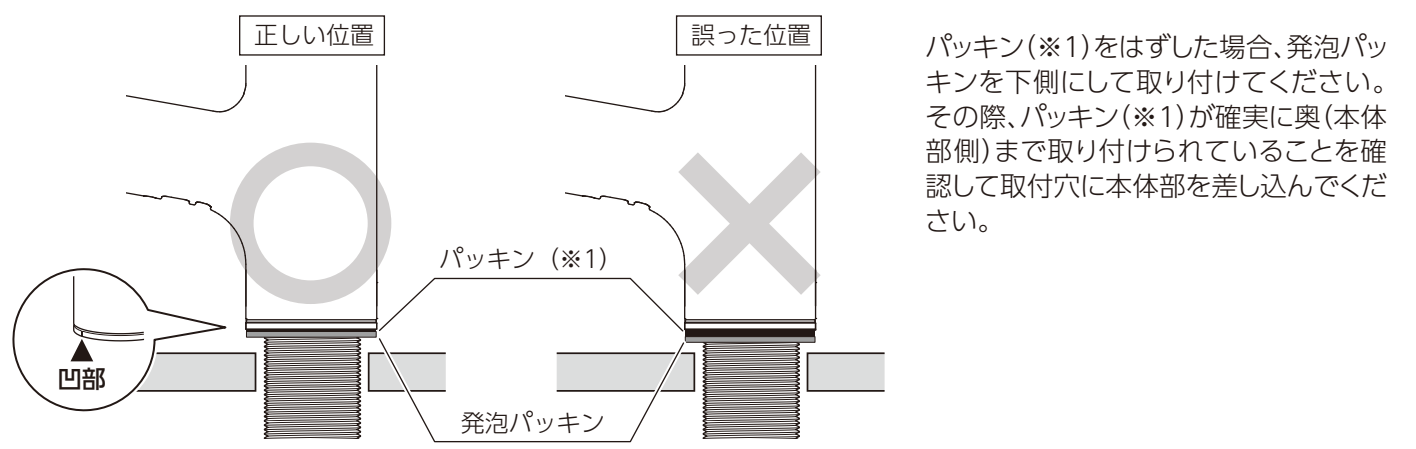
水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水栓固定ナットは混合栓用締付工具を使用して、しっかり締め込んでください。



注意

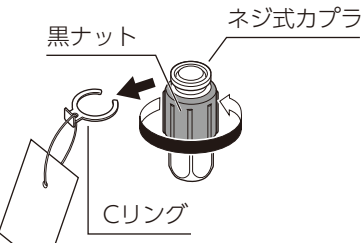
本体部取り付け後、本体下部の凹部が正面に向いていることを確認してください。本体部取り付け後、本体から発泡パッキンがはみ出していないことを確認してください。



1-④止水栓にネジ式カブラを取り付ける

①ネジ式カブラのCリングをはずし、黒ナットを「ゆるむ→」方へ回します。

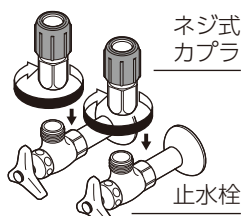
②止水栓にネジ式カブラを取り付けます。
※ネジ式カブラは平行ネジ（Gネジ）です。
※止水栓がテーパネジ（Rネジ）の場合は、テーパネジ（Rネジ）用アダプターを使用してください。



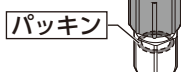
⚠ 注意

水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。止水栓にネジ式カブラを取り付けた際、充分にネジ式カブラが締め込まれているか確認してください。

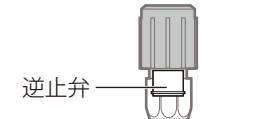


ネジ式カブラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。



【要確認】

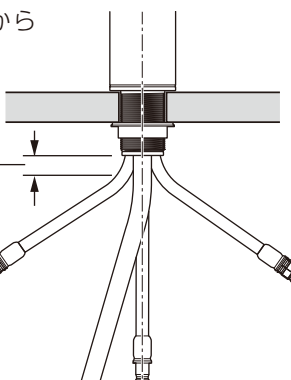
通常仕様・・・逆止弁あり
寒冷地仕様・・・逆止弁なし



1-⑤銅管（湯側・水側）を曲げてネジ式カブラとブレードホースを接合する

①銅管（湯側・水側）を銅管根元から20～30mmの位置で曲げます。

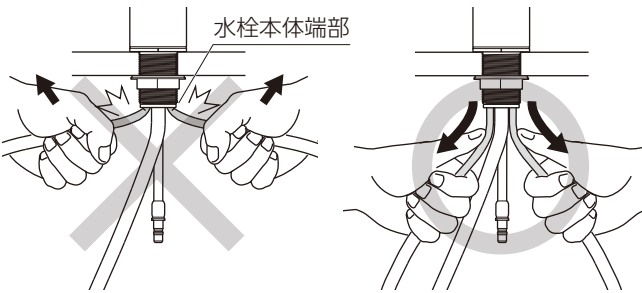
銅管（湯側・水側）の曲げ位置
銅管根元から20～30（参考値）



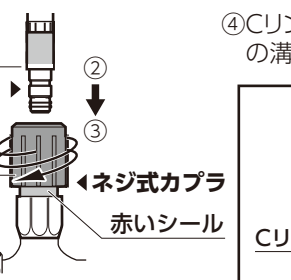
銅管を曲げる際の注意点

⚠ 注意 水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

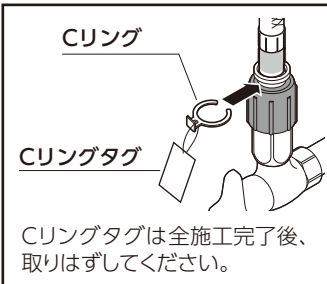
銅管を曲げる際は、銅管が水栓本体端部で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。



②ブレードホースを、ブレードホースに貼られているシールの白い線までネジ式カブラに差し込みます。



④Cリングをネジ式カブラの青色の溝にハメ込みます。



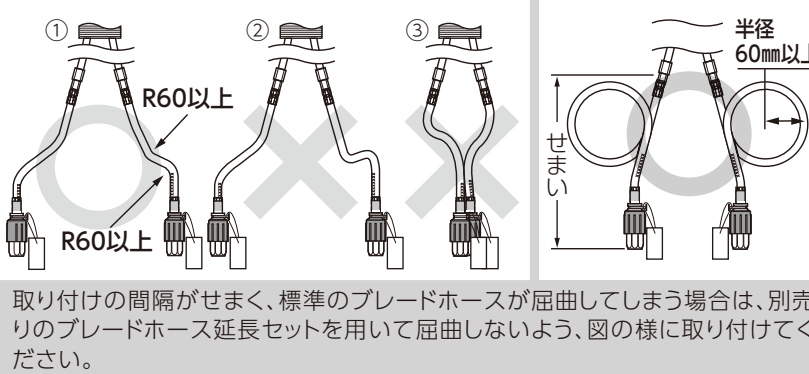
完成図

ブレードホースを、ブレードホースに貼られているシールの白い線まで差し込んでいます。
ネジ式カブラの青色の溝にCリングがはまっている。
赤いシールが見えない位置まで黒ナットが下がっている。

⚠ 注意 水が出なくなるおそれがあります

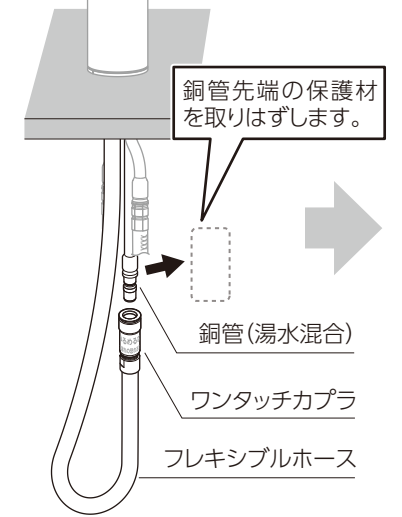
ブレードホース（湯側・水側）の施工上の注意点

- ブレードホースの折れに注意してください。ブレードホースを最小曲げ半径（60mm）よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあります。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径（60mm）よりも小さく曲げないように、注意してください。
- ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。

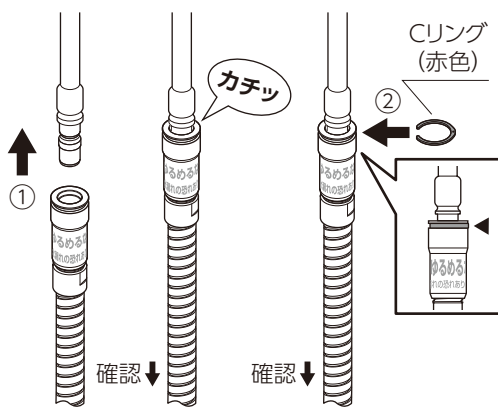


1-⑥フレキシブルホースを吐水口側の銅管（湯水混合）に取り付ける

①フレキシブルホースを洗面台下に引き出して、銅管（湯水混合）にワンタッチカブラを接続します。



ワンタッチカブラと銅管の接続方法



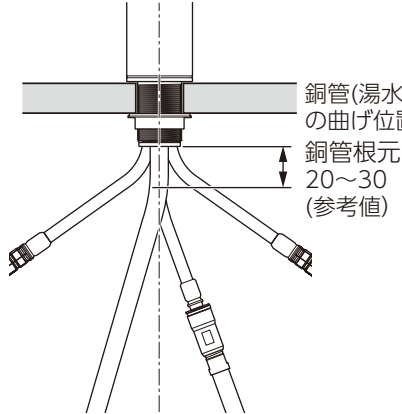
①銅管にワンタッチカブラをカチッと音が出るまで確実に差し込んだあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。

②Cリングをワンタッチカブラに取り付けます。Cリングの取り付けは、必ずワンタッチカブラと銅管を接続したあとに行ってください。先にCリングを取り付けるとワンタッチカブラを銅管へ接続できません。Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。（接続が不完全な場合、漏水の原因となります）

漏水の原因となります

⚠ 注意 ●必ず上記の手順に従って、Cリングをワンタッチカブラに取り付けてください。●接続後は必ずフレキシブルホースを引っ張って、はずれないことを確認してください。

②銅管（湯水混合）を正面からみて右に曲げます。



寒冷地仕様の場合

銅管（湯水混合）

ワンタッチカブラ
※パッキン内蔵

水抜き継手
※パッキン内蔵

※水抜き継手は、仕様によってどちらになります。

フレキシブルホース

①フレキシブルホースに水抜き継手を回して取り付けます。

水抜き継手の中のパッキンが脱落していないか確認してください。

②水抜き継手にワンタッチカブラを回して取り付けます。

ワンタッチカブラの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

③銅管にワンタッチカブラをカチッと音が出るまで確実に差し込んだあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。

④Cリングをワンタッチカブラに取り付けます。Cリングの取り付けは、必ずワンタッチカブラと銅管を接続したあとに行ってください。先にCリングを取り付けるとワンタッチカブラを銅管へ接続できません。Cリングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。（接続が不完全な場合、漏水の原因となります）

⚠ 注意

水漏れのおそれがあります

フレキシブルホース、水抜き継手、ワンタッチカブラの接続には適切な工具を使用し、締め込み後は十分に締め込まれているか確認してください。

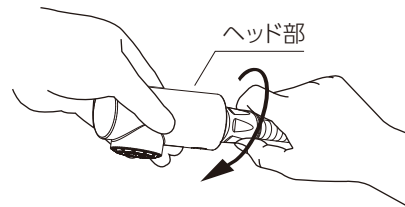
漏水の原因となります

接続後は必ずフレキシブルホースを引っ張って、はずれないことを確認してください。

1-⑦水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部および洗面台下の止水栓（湯側・水側）を開けます。

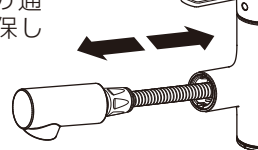
1-⑧ヘッド部を固定して締め付けナットを回して取りはずす



2.取り付けが終わったら

2-①引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

ヘッド部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スムーズに出し入れ出来ない場合は、フレキシブルホースが給水・給湯の銅管部などに干渉している可能性があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



2-②止水栓で吐水量を調節する

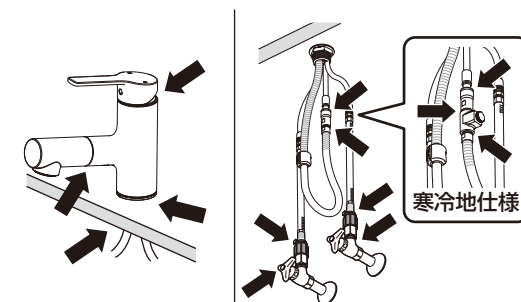
使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

レバーハンドル

吐水状態

2-③各接続部の水漏れがないかチェックする

施工完了後は、配管接続部、ネジ式カブラおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。

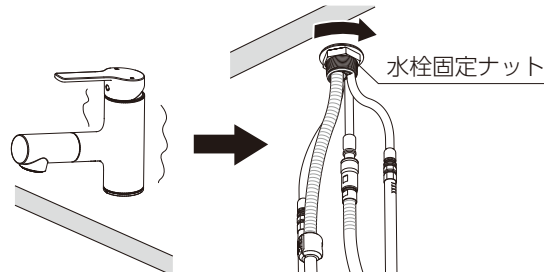


2-④本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、水栓固定ナットを回し、締め込んでください。

施工完了後、取扱説明書・施工説明書・お手入れ具はお客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。

施工完了後、節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。



免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
- 水道に関する国の基準（水道法）に定められた水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズほよい水 受付時間 8：30～18：00（年中無休）
※受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

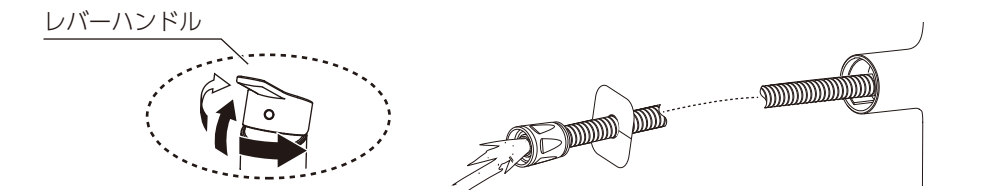
電話番号 0120-328-413

株式会社 タカギ

https://www.takagi.co.jp/

1-⑨給水管内のゴミなどを洗い流す

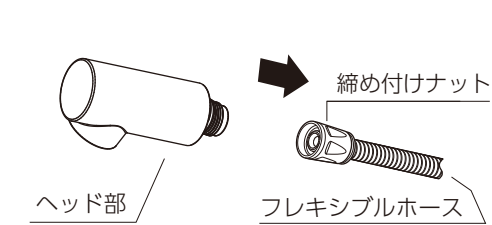
レバーハンドルを上げて左右に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。



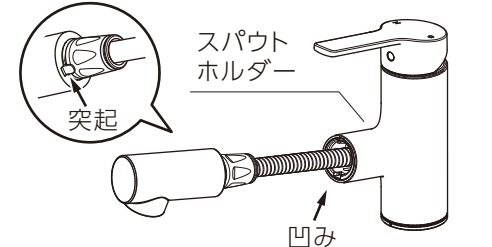
⚠ 注意

吐水が飛び散らないよう注意してください。

1-⑩ヘッド部を取り付ける



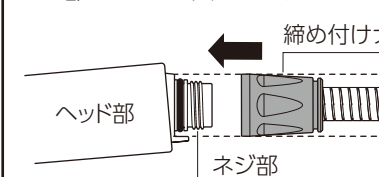
切込みタグを取りはずし、ヘッド部の突起をスパウトホルダーの凹みにあわせ、ヘッド部をスパウトホルダーに取り付けます。



①締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミゾが見える状態にします。

締め付けナット

②ヘッド部を持って、締め付けナットをネジ部にまっすぐ入れます。

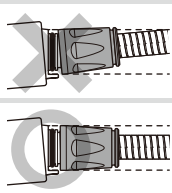


③ヘッド部を固定して締め付けナットを回転させて取り付けます。



⚠ 注意

締め付けナットは斜めに取り付けしないでください。ヘッド部側のネジ山が割れて故障や水漏れの原因になります。

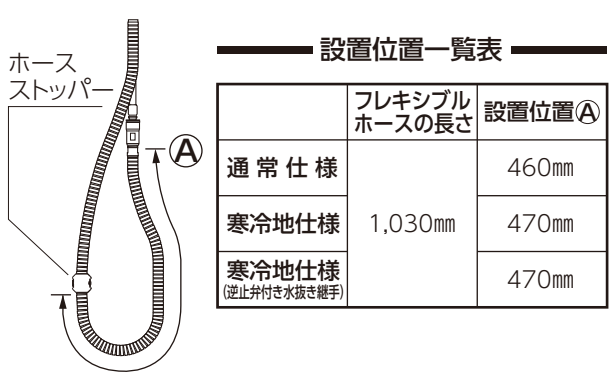


⚠ 注意

●フレキシブルホースを回転させて取り付けるとフレキシブルホースがねじれ、故障の原因になります。
●故障の原因となるため、工具を使って締め付けしないでください。

1-⑪ホースストッパーを取り付ける

〈ホースストッパー設置位置の目安〉

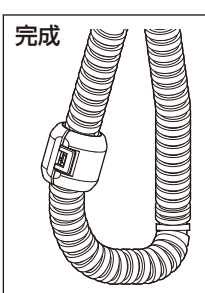


設置位置一覧表

	フレキシブルホースの長さ	設置位置(A)
通常仕様		460mm
寒冷地仕様	1,030mm	470mm
寒冷地仕様（逆止弁付水抜き継手）		470mm

フレキシブルホースをはさみ込みます。

ホースストッパー



【取り付け上の注意】

ヘッド部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。

